

町の生活情報紙
— HIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいで

10

8, October
2009
Vol.991



Contents

家庭・学校・農家・地域の声を聞く

現場レポート「食育」って何ですか？

白川ダムビジョン推進会議自然観察会より

白川源流四季の表情

陶芸と木が融合した新しいアート

館石茂さん県美展最高賞受賞インタビュー

- 03 現場レポート「食育」って何ですか？
～家庭・学校・農家・地域の声を聞く～
- 06 平成20年度まちの決算報告
- 08 高橋奎太さん『酪農の夢』コンテスト最優秀賞受賞
- 09 がんばりの軌跡
- 10 白川源流四季の表情
～白川ダムビジョン推進会議自然観察会より～
- 11 直伝おふくろの味
- 12 まちかどNEWS
置賜農業高校飯豊分校地元産物普及活動／交通安全啓発全国キャラバン隊メッセージ伝達ほか
- 14 リレーエッセー校長室便り／随想町長の見て歩き
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 18 館石茂さん県美展最高賞受賞インタビュー
陶芸と木が融合した新しいアート
- 20 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

表紙

今月の親子

添川在住


浅野克幸さん(29歳)
彩さん(30歳)
泰芽くん(2歳)
蒼仁くん(1歳)



左から彩さん、蒼仁くん、
克幸さん、泰芽くん


9月下旬の秋晴れの日、浅野家では稲刈りが始まりました。泰芽くんと蒼仁くんは、お父さんにコンパインに乗せてもらって大喜び。「子どもたちには、お父さんの農業の手伝いを通して、食べ物の大切さを感じ取って欲しいです」と彩さんは話します。お父さんが愛情込めて作った新米、今からとっても楽しみです。

Front Information 【インフルエンザの感染拡大を防ぎましょう】



新型インフルエンザと季節型インフルエンザ 予防の徹底と冷静な対応を

問合せ先／町健康福祉課健康医療室 ☎ 86-2338



感染を防ぐためには

- ◎マスクの着用 ◎うがい・手洗いの徹底 ◎咳エチケットの徹底 ◎換気による空気の入替えなど
- ◎ワクチン接種について

【新型インフルエンザ】国の基本方針に従い、医療従事者、妊婦さん、基礎疾患を有する方、幼児などを優先に接種（町では、順次、接種を受けられる時期や医療機関をお知らせしていきます）

【季節型インフルエンザ】町では、高齢者・幼児・小中学生を対象に接種料金の助成を実施（詳細16ページ）

もし感染が疑われた場合

- ◎普段健康な方
【軽症】原則、自宅療養
【症状が重い】①まずは、かかりつけ医または医療機関に電話で症状を伝える ②医療機関の指示に従い、マスク着用の上で受診
- ◎基礎疾患を有する方

①かかりつけ医に電話で症状を伝える ②医療機関の指示に従い、マスク着用の上で受診

◎妊娠している方

- ①かかりつけの産科医に電話で症状を伝える（ほかの妊婦さんに感染させないために直接産科医に行かないこと）
- ②受診する医療機関の紹介を受ける
- ③医療機関の指示に従い、マスク着用の上で受診

夜間と休日の対応

- 【症状が落ち着いた】自宅療養または平日に受診
- 【症状が重い】①医療機関に電話で症状を伝える ②休日は休日診療所を利用し、夜間は救急外来で受診
- 【基礎疾患を有する方・妊娠している方】休日や夜間に発症した場合の対応を事前に決めておく

長井西置賜休日診療所 ☎ 84-5799

受付時間／日曜日・祝日

8：30～11：30、13：00～16：30

場所／長井市保健センター内

学校

家庭

農家

現場レポート
第①弾

今、町で起きていることや町民みんなで考えたいことを、現場でインタビューし、紹介する企画です



テーマ

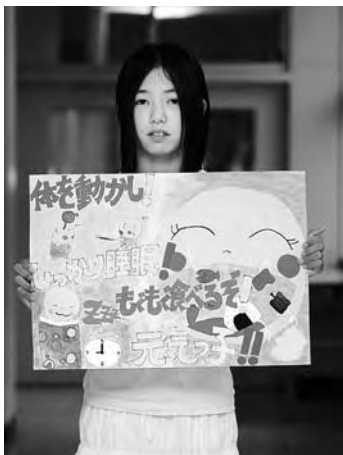
「食育」って何ですか？

地域

「食育」という言葉が子どもたちの生活環境を中心に
いろんな場面で聞かれるようになりました。
でも、「食育」とはいったい何でしょうか？
子どもの教育現場や食に携わる4名の方から
「食育」とは何かをインタビューしました。
原点に立ち返って一緒に考えてみましょう。

小中学生
食育ポスター
コンクール

私の思う「食育」を絵にしました



「食育」をテーマに描いた作品を手にする
那須和さん

町では、町内の小中学生を対象に、
食育ポスターコンクールを実施しまし
た。目的は、子どもたちにも「食育」
について考えてもらうこと。12点の応募
があり、審査の結果、第一小5年の
那須和^{あい}さんの作品が特賞に選ばれまし

た。那須さんは「食事の大切さが伝わる
ように、お母さんと相談して描きまし
た」と話してくれました。コンクール
入賞作品は、食育啓発ポスターとし
て、町内の施設に貼られる予定です。
(その他の入賞結果は9ページ)

町は、今年3月に飯豊町食育推進計画を策定し、4月から事業をスタートさせました。計画は5カ年で、朝食欠食率や小学生の肥満率の低下などの数値目標を定め、47のアクションプログラムを準備。家庭、学校、地域の連携による食育推進を目指し、行政がその環境づくりを図ります。町民の皆さんへは、今後も広報などを通じて食育に関する情報を提供していきます。

家族全員が早起きして朝食

我が家では、夫の出勤時間に合わせて6時15分ごろから朝食を食べ始めるのが習慣となっています。とても早いと思われるでしょうが、仕事や用事などで帰宅が異なる夜よりも、みんなで早起きして、揃ってご飯を食べるのが都合がよかったみたいで、自然とそんな習慣になりました。母親として、この朝のコミュニケーションの時間を大切に考え、生活のリズムを崩さないように心がけています。

メニューは、野菜料理が中心です。子どもたちが幸いに野菜好き

ということと、家の畑から採れた野菜を無駄なく使いきろうという狙いもあります。また、味噌汁は朝食のときだけにしています。

私は、中津川地区に住んでいて改めて幸せだなと実感することがあります。1つは、山菜をたっぷり食べられること。さらに山の清水で炊いたおいしいご飯を食べられることです。子どもたちが大人になっても、この「食の宝」が残り続けて欲しいと感じます。

「衣・食・住」の中でも、「食」は最も生命にかかわる大切なものなのではないでしょうか。

家

庭



町PTA母親委員会会長

高橋佳世子さん

Takahashi Kayoko

PROFILE／埼玉県出身。平成5年の結婚を機に本町へ移住。夫、中学3年の長女、小学6年の長男、義父、義母との6人家族。今年4月から町のPTA母親委員会会長を務める。趣味は演劇鑑賞。岩倉在住

私にとって「食育」とは
「家族で食卓を囲むこと」

親としてできる食育は、子どもと一緒にご飯を食べること。

仲間と取り組む野菜作り

飯豊町食育推進委員の1人として、また野菜生産者として食育推進計画に協力させていただいています。計画では、学校給食で地場産農産物供給率を平成25年度までに50%達成することを目標に掲げています。安全・安心な町内産の農産物を子どもたちへ提供することは、良いことだと思います。

しかし、その目標を達成するためには課題もあります。1つ目は、取り組みを理解し、協力してくれる生産者を増やすこと。安定した供給体制は必要不可欠です。2つ

目は、販売価格と生産コストのバランスです。収益は、仲間や後継者を増やすために重要な課題です。

無農薬野菜の生産は、相当な手間がかかります。しかし、私は、おかげさまで中地区の仲間と一緒に目標に向かってがんばることができる環境にあります。すべての作業を1人でこなすよりは、仲間と楽しく働くほうが効率が良いことも知りました。

採りたての野菜を子どもたちに食べてもらい、野菜の持つ甘みと本当のおいしさを知ってもらうこと、それが「地産地消」の真髄だと思うのです。

農

家



地場産野菜生産者

熊谷宗男さん

Kumagai Muneo

PROFILE／長井市内の自動車学校を60歳で退社後、本格的に農業に従事。稲作のほか、妻のシツ子さんや地区の仲間と共にキャベツなどの無農薬野菜を栽培している。趣味はゲートボールとゴルフ。中在住

私にとって「食育」とは
「朝・昼・晩の食事がすべて」

子どもも大人も、3食をしっかりとりながら食育の基本。

「食育」って何ですか？

子どもの教育の現場や食に携わる4名の方にインタビュー



学校

食育に家庭の協力は絶対条件

おかげさまで第二小は、児童の健康推進学校として、国と県から表彰を受けるなど、高い評価をいただいています。

当校が重要課題として取り組んでいるのは、肥満児対策と体力向上です。そしてその基礎となるのが、「生活リズム」の確保です。早寝早起きと、朝食をしっかりすることを子どもたちに徹底して呼びかけています。

子どもたちを見ていて、生活リズムは、心とつながっていることに気づきます。精神の安定、集中

力、持続力などに大きく影響しています。生活リズムを守り、栄養バランスがしっかりとれていれば、子どもの健全な成長が期待できます。

いずれにせよ、生活リズムを守るには、家庭の協力が不可欠です。幸いにして、本校の保護者の皆さんは、子どもたちの現状を真摯に受け止め、真剣に取り組んでくださっています。会合の出席率と調査物への回答率の高さが、その表れです。これは本校の誇りであり、逆に言えば、家庭の協力という絶対条件がないかぎり、食育は成り立たないと考えています。

第二小養護教諭

浅田千嘉子さん

Asada Chikako

PROFILE/北海道出身。長井市伊佐沢小、小国町伊佐領小などを経て平成17年4月から当校に着任。知識と経験を生かし、校内の肥満児対策などを積極的に取り組んでいる。趣味は太極拳とスキー。長井市在住

私にとって「食育」とは 「将来の力になる」

将来自分はこうありたいという目標を持つことが大切。



地域

危惧する郷土料理の存続

食生活改善推進員連絡協議会では、会員の皆さんの協力を得て、町内の子供たちへの食育活動に力をいれています。

主なものとして、園児たちへの手作りおやつへの配布があります。細かく切った野菜や豆腐のおからなど、栄養価値の高いものをふんだんに入れたおやつです。子どもたちはとても喜んで食べてくれます。さらに、中学生を対象にしたヘルスサポーター事業を行っています。栄養・食事の大切さを話し、その後、生徒と会員の方たちが、

一緒に調理実習を行うものです。いずれも将来を担う子どもたちの健康を願っての取り組みです。

私が危惧しているのは、郷土料理の存続です。食生活改善推進員の数が減り、高齢化する中、若い人たちへ料理を教える機会が減ってしまいました。昔から伝わる保存食は、野菜や山菜を太陽光で干すことでビタミンDを蓄えるという先人の知恵があります。郷土料理には、味、栄養、風習など多くのことが学べます。子どもが将来、郷土料理の自慢をするとき「いも煮」だけでは、飯豊の文化としてとても寂しい気がするのです。

町食生活改善推進員連絡協議会会長

中村文子さん

Nakamura Fumiko

PROFILE/1985年に食生活改善推進員となり、99年4月から現職。長年の活動と取り組みが評価され、昨年、県知事から保健衛生関係功労者表彰を受ける。趣味は日本舞踊から読書までと多彩。手ノ子在住

私にとって「食育」とは 「自分を育てること」

食は死ぬまで切り離せないこと。食育は「修了」のない勉強。

一般会計歳入・歳出額の内訳

▼一般会計歳入決算額

(単位：千円、%)


項目	本年度決算額	構成比	前年度対比	前年度決算額
町税	755,493	14.3	0.0	755,827
地方譲与税	96,614	1.8	▲3.4	100,026
各種交付金	121,064	2.3	▲4.2	126,432
地方交付税	3,011,875	56.8	3.2	2,918,540
分担金及び負担金	41,070	0.8	2.7	39,999
使用料及び手数料	97,724	1.8	37.4	71,117
国庫支出金	223,907	4.2	56.5	143,070
県支出金	184,446	3.5	21.6	151,734
財産収入・寄付金	11,829	0.2	18.8	9,953
繰入金	29,669	0.6	▲77.5	131,831
繰越金	163,123	3.1	6.4	153,352
諸収入	117,583	2.2	5.8	111,121
町債	447,400	8.4	▲3.0	461,300
計	5,301,797	100.0	2.5	5,174,302

▼一般会計歳出決算額

(単位：千円、%)

項目	本年度決算額	構成比	前年度対比	前年度決算額
議会費	70,747	1.4	▲12.1	80,482
総務費	851,664	17.3	44.5	589,583
民生費	866,865	17.6	4.2	832,219
衛生費	270,453	5.5	6.0	255,116
労働費	20,383	0.4	▲10.3	22,734
農林水産業費	473,238	9.6	2.9	459,789
商工費	117,251	2.4	10.2	106,432
土木費	294,999	6.0	▲32.3	435,838
消防費	210,089	4.3	11.1	189,088
教育費	482,076	9.8	▲23.7	632,002
災害復旧費	13,849	0.3	▲52.2	29,000
公債費	1,253,065	25.4	1.6	1,233,896
予備費	0	—	—	0
計	4,924,679	100.0	1.2	4,866,179

町民1人当たりの決算額



一般会計歳入額	631,693円
一般会計歳出額	586,760円
町税負担額	90,015円
町債借入額(単年度)	53,306円
町債残高	851,019円

(平成21年3月31日現在の人口8,393人)

一般会計を町民1人当たりで見ると、1年間の収入(歳入)は約63万2千円となり、支出(歳出)は約58万7千円でした。

1年間の収入のうち、約57%は国からの地方交付税でまかなわれ、自分で調達した額(町税)は約14%の9万円でした。

特別会計決算

(単位：千円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険 事業勘定	820,044	748,291
国民健康保険 直診勘定	110,611	108,792
後期高齢者医療	74,693	72,892
物品調達	18,136	18,136
老人保健	101,696	101,676
介護保険	814,482	785,280
訪問看護	15,681	14,994
介護老人保健施設	205,726	205,678
萩生財産区	953	698
豊原財産区	619	236
添川財産区	6,640	6,173
豊川財産区	489	143
中津川財産区	7,935	6,077
農業集落排水事業	593,775	590,237
生活排水個別処理事業	26,242	25,605
水道事業	損益勘定	215,070
	資本勘定	71,924

町のお金はどのように使われたのか 平成20年度決算報告

平成20年度の一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。
町のお金（予算）はどのように使われたのか、その内訳と町の財政状況をお知らせします。

主な施策の概要と成果

町制施行50周年事業を実施

平成20年、本町は町制施行50周年を迎え、めざまの里まつりの開催に合わせ記念式典、獅子の競演、新合唱組曲「飯豊山～我が心のアルカディア～」初演奏会などを行ったほか年間を通じ多彩な催事を行い、新たな夢ある半世紀に向かうことを誓い合いました。

また、この節目に、「にぎわい再現」スタートのための準備を進め、中核となるプロジェクト委員会を設置するための募集を行いました。

昨年の全国的な経済不況は町にも大きな影響を与え、即時に緊急経済・雇用対策本部を設置し、対策に取り組みました。さらに経済活性化と生活支援を目的に商工会

と連携し20%プレミアム付商品券3,000万円分を発行しました。

生活環境の向上を図る

暮らしの面では、町内ほぼ全域に光ファイバーを敷設し高速情報通信を可能としました。また、生活排水処理対策として、継続して添川地区の農業集落排水事業の整備を進めました。道路環境では、町道飯豊川西線防雪柵設置事業を完了し、町道南館深淵線道路改良事業に着手すると共に、消雪機能を確保するためノズル交換や井戸の改修工事を行いました。

また、障がい福祉や介護保険事業を進めると共に、第2期障がい福祉計画や第4期介護保険事業計画を策定しました。火災による犠

牲者をなくすため高齢者や障がい者世帯などを対象に住宅用火災警報器の助成事業を実施しました。

地域資源と人材を育む

産業面では、水稻および畜産を基本とした農業振興に努めると共に、木質バイオマス製造施設整備事業の基本設計・実施設計などを行い、また、教育旅行の受け入れやグリーン・ツーリズム推進による誘客活動を実施しました。さらに第4回全国どぶろく研究大会が本町で開催され、町の地域資源を全国に情報発信しました。

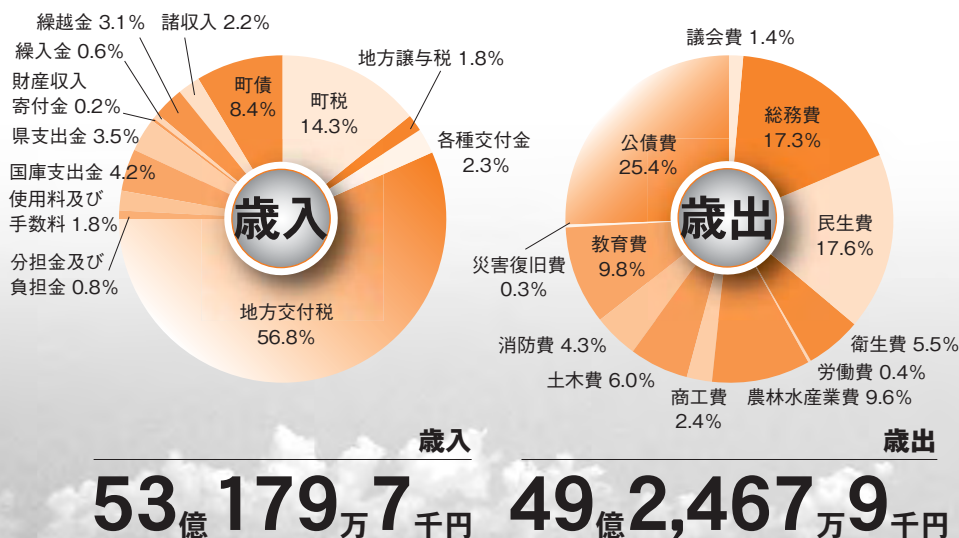
教育では、従来の事業の充実を図り、また、現在の学校および幼児施設を継続する方向で取り組みを進めることとしました。

一般会計決算額

一般会計の歳入は、前年度比2.5%増の53億179万7千円となり、歳出についても前年度比1.2%増の49億2,467万9千円となりました。

歳入歳出差引額は3億7,711万8千円となり、翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は3億1,806万9千円で、実質収支比率は8.3%となりました。

また、町債の年度末残高は6億7,952万6千円減少し、71億4,260万4千円となりました。



町債は約6億8千万円減少

全国学生『酪農の夢』 コンテスト最優秀賞

置賜農業高校生物生産科2年

高橋^{けい た}奎太さん（添川）

酪農が盛んな下川原地区で育ち、 ずっと夢を育んできた

全国学生『酪農の夢』コンテストで、本町の高橋奎太さん（添川）が最優秀賞に輝きました。全国36校から77編の作文の応募があり、その中から見事選ばれました。9月18日、東京都港区のコクヨホールで表彰式が行われ、賞状や楯などが贈られたほか、高橋さんは会場で作文を堂々と発表しました。

作文は「『天地人』縁（ゆかり）の地で、牛1頭からの酪農起業を目指して」と題し、自分が目指す理想の酪農経営のあり方を書き上げました。

「自分の酪農に対する思いが、審査員の方に伝わったことがうれしかったです」と受賞の感想を語ってくださいました。

「作文で書いたように、牛乳を搾るだけでなく、安全で高品質な乳製品に加工し、そして販売まで一貫して行う、いわゆる6次産業経営の酪農をするのが夢です」

そのために、北海道の酪農学園大学へ進学することが、高橋さんの今の目標。

どうして酪農に興味を持つようになったのか。「生まれたときから、周りは酪農の環境だったから自然と乳牛が好きになっていました」とさわやかに笑って、高橋さんは答えてくれました。



たかはし・けいた●1992年8月、添川生まれ。置賜農業高校生物生産科2年に在籍し、稲作から畜産、バイオテクノロジーまでと農業を幅広く学んでいる。部活動は柔道で初段の腕前。飯豊町柔道会にも所属する。趣味は音楽鑑賞



新しい町の英語指導助手を紹介します エリッサ イヴォーン シャッフマンさん（米国）

9月1日から、町内小中学校の英語指導助手として、エリッサ イヴォーン シャッフマン（愛称エリッサ）さんが着任されました。

はじめまして、エリッサといいます。飯豊町に来れたことをとてもうれしく思っています。生徒の皆さんへ英語を教えることが楽しみであると同時に、コミュニケーションを通して私も多くのことを学びたいと思います。子どもたちが、英語を楽しく学べるように努力していきます。

Schuffman Elissa Yvonne
エリッサ・イヴォーン・シャッフマン◎1986年9月生まれ。アメリカ・ミネソタ州出身。ディボー大学でスペイン語と英語を専攻。趣味はスキーなど。椿在住

Schuffman Elissa Yvonne

New English teacher for children

がんばりの軌跡

sports,music,art...



9月25日に第一小グラウンドで開かれた町小学校陸上大会の様子

◆町小学校陸上大会

第一小…(一)、第二小…(二)、手ノ子小…(手)、添川小…(添)、中津川小…(中)

【5年生】

◇100[㍉]男子

- ①梅津雅治(一)②佐藤勝希(一)③井上智晴(手)③鈴木大地(二)

◇100[㍉]女子

- ①後藤あいり(二)②舟山愛彩(一)③横山朱里(一)

◇50[㍉]ハードル男子

- ①手塚拓海(一)②小林陸矢(一)③金子綾(手)

◇50[㍉]ハードル女子

- ①横山朱里(一)②手塚陽佳(一)③後藤瑞穂(一)

◇1000[㍉]男子

- ①鈴木春記(二)②宇津木拓海(一)③井上智晴(手)

◇800[㍉]女子

- ①小川さおり(二)②土屋美久(一)③佐原詩乃(添)

◇走り幅跳び男子

- ①伊藤篤(二)②佐藤勝希(一)③鈴木翔太(手)

◇走り幅跳び女子

- ①那須和(一)②後藤あいり(二)③梅津美空(二)

◇走り高跳び男子

- ①鈴木大地(二)②舟山響(二)③濱邊圭吾(一)

◇走り高跳び女子

- ①高山天音(一)②舟山愛彩(一)③齋藤麻衣(手)

◇ソフトボール投げ男子

- ①井上翔(二・大会新)②山本涼輔(添)③志田航大(二)

◇ソフトボール投げ女子

- ①梅津愛美(二)②細谷美月(二)③井上玲菜(手)

【6年生】

◇100[㍉]男子

- ①今野拓海(二)②二瓶翔(添)②渡部翼(二)

◇100[㍉]女子

- ①伊藤百花(一)②舟山莉央(二)③鈴木茜紗美(二)③新野未来(一)

◇50[㍉]ハードル男子

- ①二瓶翔(添)②鈴木謙斗(二)②梅津真人(二)

◇50[㍉]ハードル女子

- ①八島沙希(一)②大法渚(一)③舟山莉央(二)

◇1000[㍉]男子

- ①鈴木涼志(二)②安部紳助(中)③高橋圭(一)

◇800[㍉]女子

- ①大橋絵梨花(二)②平山真唯(添)③伊藤百花(一)

◇走り幅跳び男子

- ①今野拓海(二)②井上和郎(手)③渡部拓也(一)

◇走り幅跳び女子

- ①鈴木茜紗美(二)②加藤知(一)③渡部汐音(一)

◇走り高跳び男子

- ①高橋空(手)②高橋大樹(一)③後藤敦史(二)

◇走り高跳び女子

- ①菊地あゆみ(添)②新野未来(一)

◇ソフトボール投げ男子

- ①渡部翼(二)②嶋貫佑平(手)③伊藤雄星(二)

◇ソフトボール投げ女子

- ①寒河江綾根(手)②志田美咲(二)③梅津真子(一)

◇混合リレー

- ①第一小②第二小③添川小

◇男子リレー

- ①第二小②第一小③添川小

◇女子リレー

- ①第一小②第二小③手ノ子小

◆全日本吹奏楽コンクール山形県大会

◇中学校小編成

- 金賞／飯豊中

◆全日本卓球選手権置賜地区予選

- ◇カデットの部・ダブルス ③後藤彩・船山和組(飯豊中)

◆川西ダリア杯卓球大会

◇ダブルス

- ①後藤彩・船山和組(飯豊中)

◆山形県英語弁論大会西置賜地区予選会

◇中学校暗唱の部

- ③嘉藤夏未(飯豊中)

◆緑化・育樹ポスター原画コンクール

- 入選／茂木宏篤(飯豊中)

◆西置賜地区読書感想文コンクール

- 入選／小川みのり(飯豊中)、小林楓佳(同)、伊藤恵理香(中津川中)

◆西置賜地区中学校新人体育大会 (下記はすべて飯豊中)

◇団体

優勝／柔道男子

第2位／野球、女子バレーボール

第3位／女子バスケットボール

◇個人

【第1位】

伊藤光希／柔道男子66[㍉]級
舟山広大／柔道男子73[㍉]級

【第2位】

渡部光／柔道男子73[㍉]級

【第3位】

船山和／卓球女子

◆長井地区防犯協会連合会防犯作品コンクール

◇ポスター・中学校の部

最優秀／渡部紗千(飯豊中)

◆山形県統計グラフコンクール

入選／高橋ほたる(中津川中)

佳作／高橋那菜(同)

学校奨励賞／中津川中

◆子ども県展

入選／小関蒼汰(手ノ子小)、山口和也(第二小)、高橋和成(中津川小)、今野拓海(第二小)、二瓶孝太(飯豊中)

◆町食育ポスターコンクール

特賞／那須和(第一小)

金賞／富永心涼(第一小)、米野ひかり(添川小)、野嶋聖寿(飯豊中)

◆町長杯・老人クラブ連合会长杯争奪ゲートボール大会

①中②小③手ノ子

◆東北小学生男子ソフトボール大会

白樺1-5愛宕(岩手)

白川源流四季の表情

秋

「僕らはみんな生きている」

文二森和裕

(森林インストラクター・樹木医)



秋季は湖の水位が下がり、人が川原に下りることができる。白川湖畔の清流にはたくさんの生物が息づいている

「アミズだつて、オケラだつて、アメンボだつて。みんなみんな生きているんだ。友達なんだ」

大好きな歌『手のひらを太陽に』の歌詞です。

今回の白川湖畔自然観察会は「いきものみつけ」ということで、地球温暖化問題も考えようということである。ムムー！ムズカシイ。まずは、この澄んだ空気を思いっきり吸える幸せを感じるのが一番だ。

季節は秋の始まりで、紅葉はいまいち。でもいたよ、いたよ。いろんな生き物が。湿地の中には、おっと、赤い腹のイモリやゲンゴロウ。子どもたちも「キャー」と言いながら興味をそそられたよう。でもクリの実は、熊より先に人間様に拾われてほとんどない。ザンネーン。

小川の石をひっくり返してもあれ、真っ赤に流れる血潮に生きている喜びを感じたのだった。『天・地・水』、人はいろんな生き物と一緒に地球を背負っているということがわかったよね。また、冬に会いましょう。



「源流の森」の池からヤモリやゲンゴロウなど多様な生物が採取できた

たら、へばりついているトビムシを発見。オニヤンマのヤゴなども見つかった。次は、哺乳類探した。飯豊牛を餌にワナを仕掛けていたが、ことごとく食い散らかされて、成果はゼロ。「アメリカ産牛にしなかつたから」などと冷やかされた。

ともすると、人は一番自分が偉いと思いがちだが、なんのなんの、生き物たちは、そんな人のおごりをフーンと鼻で笑っているに違いない。気を取り直し、白川の清流でのチャレンジ。網ですくうと、トビゲラやヘビトンボ、アブラハヤの子どもやカジカ、さらにはカジカガエルをゲット。子どもたちも大はしゃぎ。白川はとてもきれいだ。これが証明できた。「熊に会えなかつたね」という話もあったが、実際会つたらどうなつてたんだべ!!

ともあれ、真っ赤に流れる血潮に生きている喜びを感じたのだった。『天・地・水』、人はいろんな生き物と一緒に地球を背負っているということがわかったよね。また、冬に会いましょう。



みつもり・かずひろ◎サン・フォレスト森林インストラクター樹木医事務所主宰。山形県源流の森副館長、山形県環境審議会委員などを歴任。06年より白川ダムビジョン推進会議メンバーとなる。その博識を生かし、自然観察会では、動植物の生態をユーモアを交えわかりやすく解説。飯豊の自然をこよなく愛する。愛称はトトローン。山形市在住



白川ダムビジョン推進会議自然観察会◎9月20日、白川湖畔自然観察会が開催され、町内外から親子など約35名が参加。白川湖畔周辺の植物や水生生物の生態などを観察した。この会は、白川ダムビジョン推進会議が、白川源流の魅力を知ってもらおうと季節ごとに開催している。次回は、冬の白川湖畔周辺を散策。来年3月に開催予定◎役場総務企画課総合政策室TEL72-2111内線227

直伝おふくろの味



減塩で野菜の味をしつかり引き出す 根菜きんぴら

【材料】(8人分)

◇ごぼう	1本
◇にんじん	½本
◇生しいたけ	4枚
◇水煮れんこん	150g
◇水煮たけのこ	100g
◇さやえんどう	40g
◇太こん	100g
◇栗甘露煮	200g
◇油	大さじ1杯
◇しょう油	大さじ½杯
◇みりん	大さじ½杯
◇料理酒	大さじ3杯
◇塩	少々

【作り方】

- ①ごぼうとにんじんは、皮を剥かず、洗って4等ぐらいの太めの千切りにし、水にさらしておく。れんこんとたけのこは、食べやすい大きさに切り、5分間ほど水につけておく
- ②さやえんどうは、茹でて、斜め切りにする
- ③たけのこと太こんを甘辛く煮ておく
- ④れんこんを、油小さじ1杯、酒大さじ1杯、塩少々で炒め、容器に移す
- ⑤にんじんも④と同様に炒め、別の容器に移す
- ⑥ごぼうを、油小さじ1杯、酒大さじ1杯、しょう油・みりん各大さじ½杯で炒める。柔らかくなったら生しいたけを加えてさらに炒める
- ⑦②③④⑤⑥と栗甘露煮を混ぜ合わせ、出来上がり

家族の健康を考えて、塩分と油は控えめに



高峰地区
食生活改善推進員
伊藤茂子さん

雑誌で知ってから二十年以上、我が家で作り続けている定番のきんぴらです。

この料理の特徴は、油と塩分を極力控えて、栗甘露煮のほどよい甘さで野菜の味を引き立てるものです。ご覧のとおりたくさん野菜を使っています。ポリウムがあり、彩りも良いので、正月やお盆などお客様がいらつしやうたときなどにとっても重宝します。

調理のポイントは、野菜をそれぞれ分けて炒めることです。そのことで一つひとつの野菜の味がしつかり出て、色も失いません。

最近は、若い人の好みに合わせてかお肉を使った料理が多くなったように思います。時には、お肉に頼らず、野菜本来の味を味わってみてはいかがでしょう。家族の健康を思えばこそ一品です。ぜひお試しください。

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



置賜農業高校飯豊分校地元産物普及活動

私たちが考案“ゆり玄どら焼き”

9月17日と18日に、置賜農業高校飯豊分校2年生の生徒8名で試作した「ゆり玄どら焼き」試食会が、めざみの里観光物産館でありました。このどら焼きは、その名のとおり生地は玄米粉を、餡はゆり根をすりつぶしたものを使用。地元の特産品を生かし、その魅力を多くの人に知ってもらうことが目的です。試食されたお客様からは「見た目もきれいで、甘さもちょうどよい」と高い評価を得ていました。

ステップアップ！陸上競技教室

早く走れるようになりたい！



9月12日、町民スポーツセンターで、第1回目の陸上競技教室が開かれました。子どもたちに陸上競技の楽しさを教えると共に、技術の向上が目的です。町内の各小中学校から約25名が参加し、町陸上競技協会と町陸上スポーツ少年団の役員の方々が指導にあたりました。子どもたちは、ゲームによる瞬発力の訓練や基礎的なフォームの練習などを一つひとつ一生懸命にこなしました。

交通安全啓発全国キャラバン隊メッセージ伝達

全国で展開「交通安全のまち」



9月7日、役場前で交通安全啓発キャラバン隊による交通安全メッセージ伝達式がありました。これは、交通事故のないまちづくりの強化を目的に、全国を巡回しているものです。町交通安全母の会会員など関係者約30名が参加。伊藤喜和子山形県交通安全母の会連合会会長（黒沢）が代表し、「今後も町の交通安全推進に協力をお願いします」と内閣府特命担当大臣からのメッセージを後藤町長に伝達しました。



トキめき新潟国体出場選手激励会

町から7名の高校生が出場

9月15日、町民総合センター「あ～す」で、トキめき新潟国体出場選手激励会がありました。少年男子ソフトボールに遠藤卓郎さん(添川)、小松広大さん(椿)、渡部広之さん(小白川)、井上和樹さん(添川)、高橋航さん(黒沢)、少年女子・男子ライフル射撃には樋口咲希さん(中)、手塚奎佑さん(萩生)の7名が出場。皆さんは全員、県立南陽高校生です。鈴木春夫町体育協会会長(萩生)から各自に激励金が贈呈されたほか、佐藤晴樹教育長からも激励の言葉が贈られました。

飯豊白川つり大会

竿を垂らして白川に親しむ



9月20日、中津川地区内の白川で、飯豊白川つり大会が開かれました。白川に親しむ機会として西置賜漁業協同組合飯豊支部(熊野次雄支部長・手ノ子)が毎年主催しているものです。川に約100キのニジマスを放流し、町内外からの参加者約20名が釣果を競いました。大会の結果、一般の部は鈴木源右衛門さん(岩倉)が51匹、子どもの部は安部龍之助くん(運谷)が26匹のニジマスを釣り上げ、見事優勝しました。

どんでん平ゆり園球根取り放題イベント

連日町外から多数のお客様



9月12日と13日に、どんでん平ゆり園で「球根取り放題」イベントがありました。これは園内の球根の植え替えに合わせて行われたものです。合わせて約3,800平方メートルのゆり畑を開放。両日、オープンと同時に県内外から300名以上のお客様が詰め掛け、次々と球根を掘り起こしていました。中には泥だらけになって頑張る人も。来年の初夏には、植え替えられた球根で、鮮やかなゆりの花が楽しめそうです。



体験！スポーツ交流会
(東部地区公民館)



こどもみらい館「夢きららげん
きっ子広場(人形劇)」(あ～す)



EMインストラクター初級養成
講座 (白樺地区公民館)

ルエッセー 校長室便り

「厳しさが育てるもの」

飯豊中学校 菅美登校長

Profile

かん・よしのり
1951年2月、長井市生まれ。
玉庭小中学校、叶水小中学校
を経て09年4月より当
校に着任。趣味は炭炭作り。
教育者としてのモットーは
「人づくりは手づくり」。仕
事は人を育てると考え、子
どもたちには、手を使って
行動し、目的を達成して欲
しいと願う。長井市在住



本校は、「信愛を深め伸びゆく飯豊
中生」のスローガンを継承し、五十年
の歴史と伝統の上に「生きる力を育む」
新教育課程を実践しています。生きる
力とは、健康な体の土台の上に知識や
技をしっかりと身につけて、快活である
ことにほかなりません。知識や技は一
度身につければ済みませんが、意欲や気
持ちは日々変化し、辛さや困難に出会
うと落ち込みやすいものです。

創立記念式で、後藤町長から「中学
時代は、稲作で言えば『中干し』の時
期である。良質な米を作るために、あ
えて田を乾燥させ、稲の持つ生命力を
引き出すための作事である。生徒諸君
には、厳しさを辛さにあえて挑み、人生
を豊かに結実させるための生活を送っ
てほしい」との祝辞をいただきました。



伝統と実力を兼ね備えた飯豊中吹奏楽部

本校の吹奏楽部は、三年生部員一名と
いう編成で九年連続県大会金賞とい
う成果を上げました。伝統に加え、例年
にもまして厳しい練習に耐えた成果で
あると言えます。三年生の島貫秀明君
は、練習での心の葛藤とそこで得た
「生き方への自信」を少年の主張大会で
発表して、成長ぶりを示してくれました。

困難に打ち勝つ経験が、意欲や快活
さを育てる。このことは、学校と家庭
の子育ての歩調の
一致なしには達成
できません。その
ためのコミュニ
ケーションを高め
ることが、課題の
一つであると考え
ています。

連載

町長の思ふ歩み 7

「思い巡らす秋の一日」

後藤 幸平



稔りの秋本番を迎えて田園散居村
は、黄金色のじゅうたんを敷きつめ
たような風景から行儀よく稲株が並
ぶ元の田んぼにもどる。辺りにはそ
こはかとなく安堵感が漂い収穫を祝
う微笑みが行き交う。

繰り返される農村の営みに「昨日
またかくてありけり 今日もまたか
くてありなん この命なにをあくせ
く 明日をのみおもいわづらふ」と、
千曲川旅情の歌を思い起こさせる。

人びとの暮らしに、川の流れが逆
流するような変化などありようがな
いのだと思いつつも、このところの
世相はやはり、百年に一度と表現す
るにふさわしい転換期と言わざるを
得ない。

信用と市場はふくらみ続けるかの
ような景気の神話がまたしても弾け
て、再来した不況からまだ抜け出せ
ない中、「政権交代」が現実のことに
なった。

町長は中立。政局が流動的なき、
それが無難な選択とだれしもが考え
る。ましてやいろんな考えが渦巻く

町民の選択によって成り立つ立場と
なればそれは当然の姿だろう。町づ
くりでは不偏不党を貫くべきである
ことはまず間違いない。

しかし、私は衆院選では自分の姿
勢を明確にした。国政に一定の見識
のない首長はいないだろうし、誰で
も胸中には支持する政党名がある。
それでも波風を立てないようにな音
と建前を使い分けることが多い。だ
がしかしそれは潔い姿勢とはいえな
い。わが国はいま何を選択すべきか、
どんな生き方や生活をしたいのか、
そのための子育ては、教育は、暮ら
しは、経済は、農業はどうするか
ど判断軸は明確であるべきだし、議
論があつてこそ社会は進歩する。

ただ世論は単純ではない。「あざ
なえる縄の如し」の喩えのとおり、
縄目のようなねじれの潮流は繰り返
されることを忘れてはならない。

「百年もきふのごとし」と島崎藤
村が旅情の歌に詠んだ大らかな感慨
に現代を重ね合わせ、明日の飯豊に
思い巡らす秋の一日である。



こどもみらい館の予定表
(10月・11月の日程)

- 10月14日(水) 10:30～ おはなし広場
- 20日(火) 10:30～ あそびの広場
- 21日(水) 10:30～ ゆりコーラス音楽鑑賞
- 23日(金) 10:30～ ミニミニ運動会 (要申込)
- 29日(木) 10:30～ かんがるー広場
- 11月5日(水) 10:30～ おやつ作り
- 7日(土) 10:30～ ブックスタート広場
- 10日(火) 10:30～ あそびの広場

★10月15日(木)の添川児童センターを皮切りに、日替わりで町内の幼稚園・保育園と交流する「なかよし広場」が始まります。詳しくは、こどもみらい館までお問い合わせください。

episode

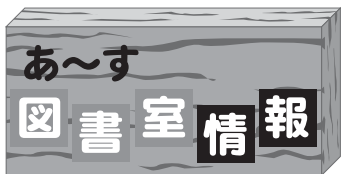
子育て応援
kosodate
ouendan 談

大切にしたい子育ての信条
「育てたように子は育つ」

「育てたように子は育つ」。子どもといるとき、私は、詩人で書家の相田みつをのこの言葉を、ふと思い出すことがある。自分は、わが子に対し、自信を持って考え方や価値観を教えることができるのか？ そして行動は伴っているのか？ 時々、そう自問する。

私が一番心がけているのは食事だ。以前、テレビで「子どもの個食(1人での食事)」が取り上げられていて、その悪影響を知ってから、必ず1日1回は、家族全員で食事をとることにした。ある程度仕事を割り切らざるを得なかったが、そのおかげで、子どもの成長を実感でき、子どもは、私たちの仕事について関心を持つようになってくれた。これからも家族で食卓を囲み、私は私なりの「育てたように子は育つ」を実践していきたい。

- 役場教育文化課子育て支援室 ☎72-2111内線160、163
- こどもみらい館 ☎72-3336



今月のおすすめ図書

10月27日から11月9日は読書週間です

児童図書

「くまの楽器店」

こみねゆら／絵 安房直子／作
小学館

野原の真ん中に、くまの楽器店がありました。そこにやって来るのは、かわいい男の子や、元気のないおじさん、おなかをすかせたねずみの子、寒がりやのうさぎ…。心がやさしくなる絵本。

児童図書

「勇者の谷」

ジョナサン・ストラウド／作
金原瑞人／訳 理論社

谷には、12人の勇者の伝説があった。しかし、それらがすべて嘘で、勇者などいなかったとしたら？ 少年は、伝説に包み隠された真実を求めて谷を出る。

一般図書

「フリーター、家を買う。」

有川浩／著 幻冬舎

やり甲斐とか、本当にやりたい仕事とか、言ってる場合じゃないし！崩壊しかかった家族の再生と、「カッコ悪すぎな俺」の成長を描く、勇気と希望の結晶の物語。Webサイト『日経ネット丸の内office』連載を単行本化。

一般図書

「長寿大国の虚構 外国人介護士の現場を追う」

出井康博／著 新潮社

2014年には50万人もの介護労働力が不足する日本。2008年に始まった外国人介護士の受け入れも、介護地獄解消の切り札とはなりそうもない。何が問題の解決を阻むのか。外国人介護士が働く現場を追い、介護の闇に迫る。

- 開館時間 午前9時～午後6時 10月30日(金)まで
午前9時～午後5時 10月31日(土)から
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ先 町民総合センターあ〜す図書室 ☎72-3111

飯豊町役場
電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

知っていましたか？ 特定不妊治療費の助成について

- ◆ 県では、特定不妊治療を受けているご夫婦に治療費の助成を行っています。
- ◆ 助成の対象／○体外受精○顕微授精
- ◆ 助成額／1回の治療につき15万円を限度に、1年度あたり2回まで、通算5年間助成
- ◆ 申込方法／治療終了日の翌月末まで置賜保健所へ申請
- ◆ その他／必要書類などの詳細は下記までお問い合わせください
- ◆ 申請・問合せ先／置賜保健所 ☎0238-22-3205

町長杯グラウンド・ゴルフ大会 参加者募集

- ◆ 日時／10月31日(土) 13:00～
- ◆ 場所／すわんぱくグラウンド・ゴルフ場(黒沢)
- ◆ 参加資格／○町グラウンド・ゴルフ協会員○町内に住んでいる方または町内に勤務している方
- ◆ プレー方法／○個人戦○男女別・年齢オープン○16ホールの合計打数
- ◆ 参加料／1人300円
- ◆ 申込方法／10月21日(木)までに下記へ電話で申し込み(受付時間:月・木曜日を除く9:00～17:00)
- ◆ 申込・問合せ先／町民スポーツセンター ☎72-3086

くらしに笑いをうるおいを 「くらしの寄席」のご案内

- ◆ 日時／11月3日(火) 10:00開演
- ◆ 場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆ 内容／山遊亭金太郎さんの落語で「安心安全なまちづくり」を学びます
- ◆ 入場料／無料
- ◆ 問合せ先／役場住民税務課生活環境室 ☎72-2111内線131・133

宇津峠を歩こう会 参加のご案内

- ◆ 日時／11月1日(日) 7:30～(少雨決行)
- ◆ 集合場所／西部地区公民館
- ◆ 日程／8:30(落合地藏尊)→10:30(宇津峠)→12:00(西部地区公民館・芋煮会)
- ◆ 服装・持ち物／軽登山姿、運動靴、雨具、帽子、飲料水など
- ◆ 参加費／芋煮会費・保険・資料代込み大人1,500円、子ども1,000円
- ◆ 申込締切／10月24日(土)
- ◆ 申込方法／下記まで電話・FAX・Eメールでお申し込みください。ただしFAX、Eメールの場合は、芋煮会の参加の有無、保険加入のため氏名・生年月日を必ず明記してください
- ◆ 申込・問合せ先／西部地区公民館 ☎75-2111 FAX75-2273
Eメール seibuko@ejan.ne.jp

町駅伝競走大会 参加チーム募集

- ◆ 日時／10月25日(日) 受付8:30 スタート9:30
- ◆ 集合場所／つばき保育園前
- ◆ チーム編成／3人1組
- ◆ 種目
①小学生男子の部・女子の部
②中学生以上男子の部・女子の部
③マラソンの部／1.5km・男女別・だれでも参加できます
- ◆ 競技方法
○駅伝／1区間(1.5km)を3区間で駅伝(合計4.5km)
○マラソン／1.5kmコース
- ◆ 申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆ 申込締切／10月15(木)
- ◆ 申込・問合せ先／役場教育文化課生涯学習振興室 ☎72-2111内線162

季節型インフルエンザ 予防接種料金助成について

- ① 子どものインフルエンザ予防接種料金の一部助成について
◇ 対象／幼児(平成15年4月2日～平成20年9月30日生まれ)、小学生、中学生
◇ 助成／接種費用のうち1,500円を助成(1回分のみ)
◇ 期間／12月31日(木)まで
◇ 利用方法／該当する方に送付していただきます(はがき)を受診の際に提出してください
◇ 利用できる医療機関
町内の診療所・開業医または長井市内の開業医(事前に電話で確認ください)
- ② 高齢者のインフルエンザ予防接種について
◇ 対象／①65歳以上の町民の方②60歳以上65歳未満で心臓機能障がいなど、障がいがある一定の基準に該当する町民の方
◇ 町の対応／接種費用のうち1,000円を公費負担(1回分のみ)
◇ 期間／12月31日(木)まで
◇ 利用方法／必要書類などは医療機関にあります
◇ 利用できる医療機関
町内の診療所・開業医または長井・西置賜地区の開業医など
※医療機関へ前もって予約をし、「飯豊町高齢者インフルエンザ予防接種であること」を伝えてください
- ③ 公立置賜総合病院におけるインフルエンザ予防接種について
◇ 期間／11月2日(月)～12月28日(月)
◇ 対象者／通院・入院中の方のみ。一般の方は、対象外です。ご注意ください
◆ 問合せ先／町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

こせきのほど
戸籍の窓

(9月届け出分)

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
黒沢 佐藤	由和ちゃん	(昭光 真由美)
中 長 岡	美愛ちゃん	(悠平 亜美)
手ノ子 井上	葉里ちゃん	(雄俊 由佳)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
萩生 中舘 伊藤	きよさん	92
上屋地 川戸 山本	包典さん	93
萩生 町上 高橋	みよさん	82
広河原 高橋	満さん	82
高峰 榎 高橋	うめのさん	97
中 晒 山口	芳太郎さん	82
黒沢 堀 鈴木	志譽さん	88
添川 上町 野口	ゑいさん	86

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

9月分 () 内は対前月比			
世帯数	2,403 (0)	転入	2
人	男 4,052 (-4)	転出	9
	女 4,301 (-8)	出生	3
口計	8,353 (-12)	死亡	8

**国民年金保険料の
収納業務について**

10月から国民年金保険料の収納業務は、民間委託で実施します。県内の全社会保険事務所は、(株)オリエントコーポレーションに委託します。

◆委託内容

- ①保険料未納者に対する納付督促業務
- ②保険料免除など申請手続きの勧奨業務

◆問合せ先/役場住民税務課住民室

☎72-21111内線120・127

**山形県母子寡婦福祉連合会
お母さん交流会のご案内**

◆日時/11月1日(日) 10:00~15:00

◆場所/南陽市民体育館・中央花公園

◆対象/置賜地区の母子・父子家庭の親子

◆定員/30世帯

◆内容/親子一緒にのゲームや保護者同士の交流会など

◆参加費/無料

◆持ち物/昼食、運動できる服装、上履き

◆申込方法/下記まで電話で申し込み

◆申込締切/10月20日(火)

◆申込・問合せ先/財山形県母子寡婦福祉連合会 ☎023-633-0962

**老朽化した消火器に
ご注意ください!**

腐食が進んだ消火器が破裂して大げさな事故が多発しています。次のことに注意してください。

- ①風雨にさらされる場所や湿気の多いところに置かない
- ②本体の底や取っ手の部分に腐食がないか、ホースに亀裂がないかを定期的に確認する
- ③腐食が進んでいるものは使用しない
- ④処分は、専門業者に依頼する(有料)

◆問合せ先/消防署飯豊分署 ☎72-2222

**河川の支障木を
利用しませんか**

①県では、河川管理上支障となる樹木の伐採協力を募集します。条件悪地での支障木伐採利用については、経費の一部を助成する制度があります。

◇対象/自ら支障木を利用する人(団体・企業などを含む)

◇対象河川/置賜白川(松原~手ノ子地内)

②県が伐採した木を無償で提供します。ただし、無くなり次第終了します。

◇対象/自ら持ち帰れる個人

◇引渡し場所/野川谷地橋(長井市宮地内)、白川上白川橋(飯豊町黒沢地内) 置賜総合支庁小国分所(小国町小国小坂町地内)

◆申込方法/下記まで電話で申し込み

◆申込期限/10月28日(水)

◆申込・問合せ先/置賜総合支庁西置賜河川砂防課維持調査担当 ☎88-8233

**認知症予防セミナー
参加者募集**

◆日時/11月11日(水) 13:30~16:30

◆場所/置賜生涯学習プラザ(長井市)

◆内容/○高見国生氏による講演(社認知症の人と家族の会代表理事)
○認知症サポーター養成講座など

◆定員/300名

◆参加費/無料

◆申込方法/下記まで電話で申し込み

◆申込・問合せ先/山形県健康福祉部長寿社会課 ☎023-630-2189

**置賜農業高校公開講座
ネット社会から子どもを守る**

「大人は知らない『ネットいじめ・携帯依存』から子どもを守る方法」と題し、公開講座を開催します。

◆日時/10月29日(木) 14:45~16:30

◆場所/川西町フレンドリープラザ

◆内容/安川雅史氏による講演(心理学博士・全国Webカウンセリング協会理事長)

◆申込方法/10月23日(金)までFAXかEメールで申し込み

◆申込・問合せ先/置賜農業高校 ☎0238-42-2101 FAX42-2103

Eメール ssuzukiku@pref-yamagata.ed.jp

◇政権が代わり、公共工事のあり方が見直されています。中でも長野県長野原町の八ツ場ダム建設問題が、大きくマスコミで取り上げられています。▽ひるがえって、わが白川ダムは、長年、町のシンボルの一つとして、多くの町民の皆さんに愛され親しまれています。風光明媚な景観は、見る者を癒し、力を与えてくれます。治水だけではなく別の側面の役割。白川ダムビジョン推進会議の自然観察会に参加し、そんなことを感じました。▽もうすぐ迎いの山々が赤く色づく季節。白川ダムがどんな表情を見せてくれるのか楽しみです。(横山)



やきもの
陶芸と木が融合した新しいアート
 それは飯豊の自然へのオマージュ
敬意
県美展彫刻部門 最高賞受賞



陶芸家・萩生

館石茂さん

たていし・しげる●陶芸家。1956年5月、萩生生まれ。銀行員を経て、25歳のときに単身、山口県萩市へ赴き、本場の窯元で2年間陶芸の勉強をする。地元へ戻り、84年1月から萩生地区で「萩生焼無禅窯」を始める。現在も数々の陶芸作品を世に送り出すと共に、中津川地区の「源流の森」で陶芸教室の指導者として活躍中。趣味はバイク。萩生在住。

◎県総合美術展（県美展）

山形県内最大の公募美術展。日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門からなり、今年は合わせて716点の応募があった。館石さんの受賞した彫刻部門は、彫刻家で東京芸術大大学院教授の藪内佐斗司氏が審査。主催は山形新聞社、山形放送、県美術連盟、山形美術館など

——最高賞である県展賞受賞の感想をお聞かせください。

館石 県美展の事務局から「県展賞おめでとうございます」と電話で受賞の知らせをいただいたのですが、その時、何のことなのかぴんときませんでした。電話を切つて、調べてみたら最高賞とわかり、まさかの受賞だったので二度びっくりしました。家族も受賞をとても喜んでくれて、息子からは、日本酒のプレゼントがありました（笑）。

——「進退虫」とは始めて耳にする言葉ですが？

館石 「進化」と「退化」を結びつけた造語です。新しい虫ということでカマキリとコオロギを組み合わせて「カマ・ロギ」にしようかとも

考えたのですが、作品の出来上りのイメージからそのように名づけました。自分で作って楽しいものを多くの方に見てもらいたいという気持ちで創作したものです。

——製作日数と苦労した点を教えてください。

館石 昨年の県美展の終了後から創作に着手しました。ちょうど今頃の時期からですので、約一年間費やしたことになります。ずっと「虫」をテーマに作りた

写真提供／山形新聞社



『進退虫』

(高さ145㎝、幅77㎝、奥行き70㎝、陶・木)

いと考えていました。そして女性の体をイメージした胴体をやきもして「源流の森」園内からふさわしい枝を拾い、はめ込みました。

すると、指や体の突起物、羽、足を付けてみたら面白いだろうとどんどん想像が膨らんできました。

その結果、足より胴体が先にできていましたから、その重量を支える足を後付けで作るのはとても苦労しました。胴と脚の面の水平

ています。飯豊町の身近な自然にあるもので作られています。

——陶芸や彫刻の魅力は何でしょうか？

館石 自分で楽しいと思うもの、どんな組み合わせで表現できるその広がりではないでしょうか。

——「源流の森」でインタープリター（森の案内人）として、陶芸教室で指導にもあたつてらっしゃいますが、活動を通して子どもたちに伝えたいことは何ですか？

館石 自分が子どものころは木を削つてバットを作り、石をボールに見立てて遊んでいました。川で粘土質の土を集めて捏ねたりもしていました。残念ながら今の子どもたちにその環境はほとんどありません。だからこそ「源流の森」を利用いただき「自分でモノを作る楽しさ」を実感してもらいたいと思います。

——最後に今後の抱負をお聞かせください。

館石 これからもやきもの、木が融合した作品を作りたいと思っています。また、やきものと金属の融合にも挑戦してみたいとも。自分で満足できる作品を作り続けたいと思います。

源流の森「陶芸教室」

中津川地区にある「源流の森」では、館石さんの指導する陶芸教室を常時開設している。年齢を問わず、だれでも皿やカップ作りなどに挑戦できる。館石さんから陶芸の楽しさを教わろう。
 ④源流の森 Tel 77-2077

- 【アトリエ利用料】
- 幼児／無料 ● 小中学生／100円
 - 高校生以上／400円
- ※別途材料代(粘土500g 400円～)



Works & Information

館石茂さんの作品と陶芸教室



めざまの里観光物産館

町特産の「鳴き砂」を体感できるめざまの里観光物産館2階の「サウンドさんど館」。そこにある体験ツールも館石さんが製作したもの。どれも緻密な計算のもと形よく造られている上、砂の音と動きが楽しく体験できる仕掛けとなっている。

【特別賞作品】



新緑のころ

(撮影場所／中津川地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

撮影者

高橋信弘さん (米沢市)

この度思わぬ受賞で感激しています。写真を始めて40年以上になりますが、白川湖周辺には四季折々に十数回撮影に出かけています。作品「新緑のころ」は、題名のように新緑のころ暗いうちから出かけて朝の光で撮影した作品です。

これからも飯豊町を写し続けると思っています。

写真家 佐藤秀明先生の講評

晴れ晴れとした作品ですね。湖面を吹き渡る風や若い柳の葉がいきいきと表現されています。ただ作者の狙いが漠然としているところがあります。それが題名にも表れています。

